



JICA
だより



ベトナム①
(2021年から派遣)
神田恵理さん(35)
ウオンビ市在住
(岡山県勝央町出身)

JICA海外協力隊員としてベトナムに赴任して2年がとうとうしている。帰国まで残りわずかとなった。

新型コロナウイルスの影響で派遣が延期され、派遣国や任務の内容まで変更と

なった時は不安も感じたが、ベトナム行きが決まった時は安堵の気持ちが大きかったのを思い出す。

赴任当初は、コロナの影響でオンライン授業をしたり、行動を自粛したりと想像していた協力隊の活動とは異なっていた。しかし、

たこ焼き文化祭で好評

喜びを感じる日々でもあった。この国で日本語を教えることができて良かったと心から感じられたからだ。

授業ではなるべく日本の行事、文化、食べ物などの話もしたいと思っていた。十五夜の日に月見団子を作



日本文化祭でたこ焼きと一緒に作った学生たちと。左から3人目が筆者

ったり、どら焼き風のお菓子を作ったりしてみた。郷里の岡山について紹介したこともある。今年5月に大学で開催された日本文化祭で、学生たちと一緒にたこ焼きと備前市日生町の名物「カキオコ」を作って販売した。材料のタコは日本ほど一般的ではないが、カキはよく食べられる。物珍しさもあつてか、特にたこ焼きが人気で多くの人が買ってくれた。

互いの文化を知ることが、友好関係を築く基礎となる。育った環境や国が違えば当たり前だが、考え方や振る舞いも異なってくる。それぞれの文化の良さや背景の違いを理解し、分かち合つてこそ、より良い関係性を築けるのではないだろうか。そう思った2年間であった。